

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	NO.6	玄関及び非常口に施錠扉がある。外部からの出入りが多いため、単独外出防止のため、普段は鍵を掛けている。身体拘束をしないケアという観点から、問題視される。	鍵をかけないケアを念頭に、安全を確保し、自由に生活できる環境作りを心掛ける。	人員不足の問題解決と、各職員が、利用者の日常生活見守りの強化を図り、施錠をしないケアを意識し取り組む。	1ヶ月
2	NO.11	職員間で、情報のやり取りが少なく、管理者又は職員が、個々の状況を把握しきれていない。	個別に職員の状況を把握する機会作りをする。	休憩時間や外先で交流の場を増やし、職員の仕事に対する意識強化を図る。	1ヶ月
3	NO.10	運営推進会議、または園外レクリエーションへの参加の機会を増やし、利用者及び家族との意見交換が行われているが、運営面を意識した利用者及び家族からの意見聴取が薄い。	運営面を意識した利用者及び家族からの意見聴取の方策を検討する。	定期的に家族からアンケートをとる機会を作り、運営面に反映できるようにする。	2ヶ月
4	NO.26	介護計画の目標を掲げているが、各利用者の日常生活の状況に、日々の記録が連動しておらず、利用者の状況が詳細に掴めない。	介護計画の目標を意識した支援実施に向け、介護記録の付け方を改善し、目標に向けて現状を理解してもらえるようなものにする。	援助目標の実施欄を改善し、5段階評価で利用者の日々の取り組み状況がわかるようにする。	1～2ヶ月
5	NO.35	防災設備は整っているが、災害時に備えての地域との連携が薄い。(地域連絡網などが無い)	災害時に地域との連携が図れるように、連絡網や近隣の避難場を把握しておく。	避難場の場所の把握と、地域連絡網の作成をし、運営推進会議等でその災害時の対応と流れを事前に計画しておく。	1ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。